

食道表在癌の深達度診断の基礎はかなり確立されたように思われる。しかしながら、実際の診療では深達度診断を誤る症例も存在する。今回の特集で深達度誤診の原因が詳細に検討され、深達度の浅読みあるいは深読みされた実際の症例が示された。それらの中には再検討すると正診できたであろうという症例も含まれていた。また鬼島の検討結果は、過去に浅読みの誤診をした原因の再検討により浸潤を示す所見が判明してきたことを反映したものであると想像される。今後はこの深読

みも是正され、さらに正確な深達度診断がなされるようになっていくと思われる。

ただし病理学的課題も残されており、例えば粘膜筋板が断裂したために m3 となってしまった症例(小山が提示)の扱いや、微小浸潤の意義を再検討する必要がある。今後、深達度以外の因子も含めた治療方針と直結した術前診断が可能となることを期待したいが、そのためには病理組織学的解析を臨床画像と結びつけるさらなる努力が必要であると病理の立場からは痛感した次第である。

胃と腸

6月号(第39巻・第7号) 予告

発売予定 6月25日
定 価 2,520円

主題/胃癌術後の残胃癌

序 説	胃癌術後の残胃癌	慶應義塾大学医学部・外科	大 谷 吉 秀
主 題	最近の残胃癌の頻度の動向—術式別・部位別等	国立がんセンター中央病院・胃外科	大橋 真記・他
	早期胃癌術後残胃の内視鏡サーベイランス	福井県立病院・外科	細川 治・他
	残胃癌の臨床病理学的特徴と組織発生	九州大学大学院医学研究院・形態機能病理	八尾 隆史・他
	残胃癌の臨床病理学的特徴と組織発生		
	—特に Epstein-Barr virus の関与を中心に	福井県立病院・病理	海崎 泰治・他
	早期の残胃癌の特徴—診断のポイント: X 線検査	社会保険中央総合病院・内科	浜田 勉・他
	早期の残胃癌の特徴—診断のポイント: 内視鏡	仙台厚生病院・消化器内視鏡センター	長南 明道・他
	残胃癌の ESD (endoscopic submucosal dissection)	佐久総合病院・胃腸科	小山 恒男・他
	残胃癌の治療—外科的治療	大阪医科大学・一般・消化器外科	谷川 允彦・他
主題研究	幽門側胃切除以外の術後胃における癌		
	—噴切後の残胃の癌	東京大学大学院・消化管外科学	上西 紀夫・他

胃と腸 (第39巻 第6号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2004年5月25日発行(毎月25日発行)

1部定価2,520円(本体2,400円+税5%)

2004年年ぎめ予約講読料35,010円

(増刊号5,775円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2004, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・JCLIS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当)小松原・今田・山中・飯村